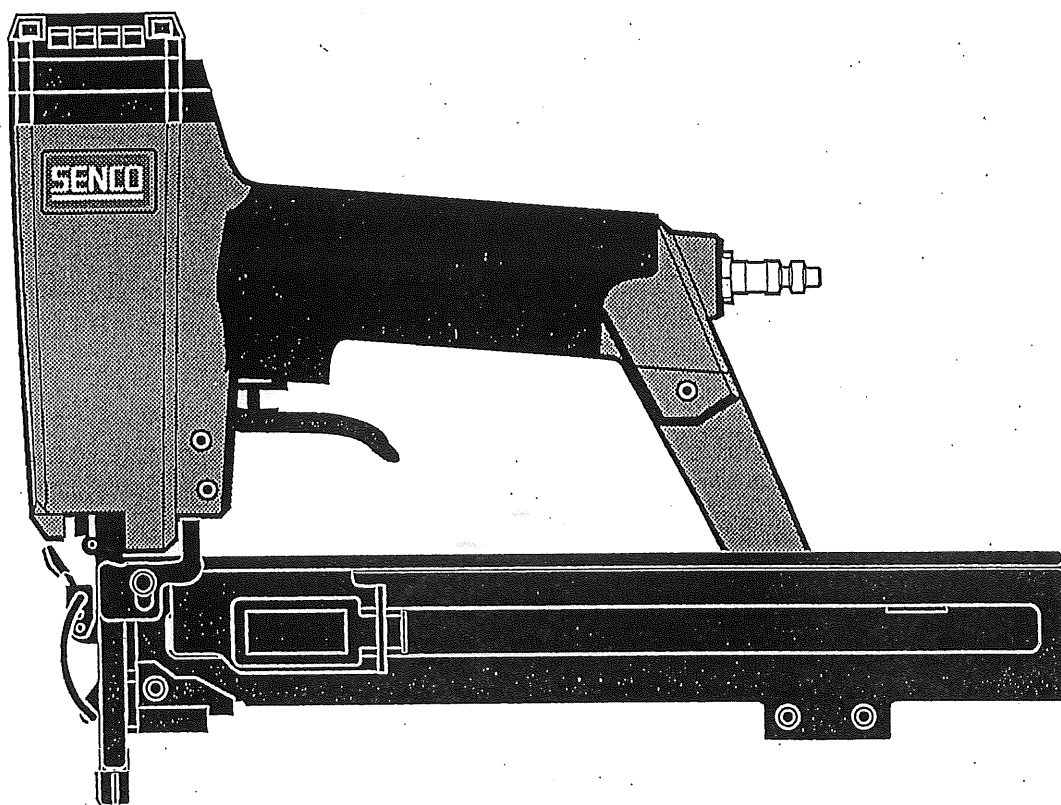


SENCO[®]
FASTENING SYSTEMS

センコ タツカ

SLS25

取扱説明書



発売元 リョービ販売株式会社

目次

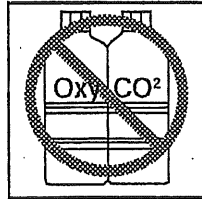
内容	ページ
安全作業の手引き	1
使い方	3
日々の点検	4
故障と対策	5
タッカとステーブルの仕様	6

安全作業の手引き

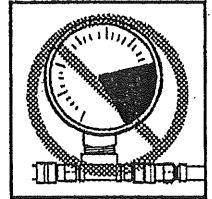
「安全作業の手引き」を充分読んでください。



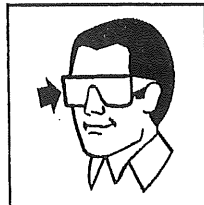
酸素、炭素ガスは絶対に使用しないでください。



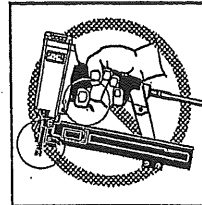
13.7 気圧以上の高圧で使用しないでください。



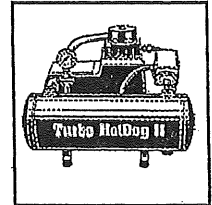
必ず安全メガネをしてください。



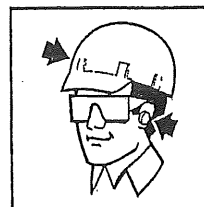
セーフティーレバーが、なにかに当たって誤って押し上げられ、釘が発射する恐れがありますので作業中断時、あるいは釘打機を持ち歩く時は、必ず引き金から指を外してください。



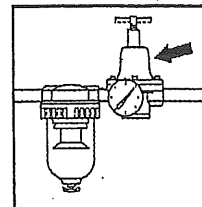
清浄な圧縮空気をご使用ください。



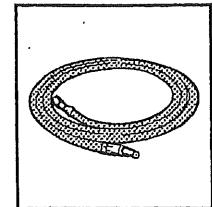
その他、耳栓及びヘルメット等保護具をしてください。



指定された適正エア一圧に調整してお使いください。本機の適正エア一圧は5~7 気圧です。

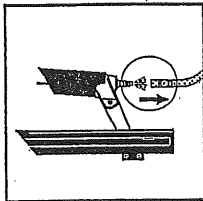


使用エア一ホースは、最低 10.3 気圧、あるいは使用エア一圧の 1.5 倍の空気圧に耐えられるものを使用してください。

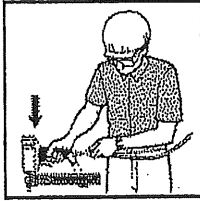


安全作業の手引き

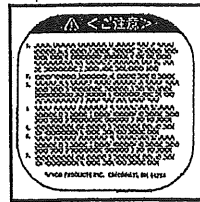
カブラからエアホースを取り外したとき、釘打機内のエアが抜け出るカブラを使用してください。



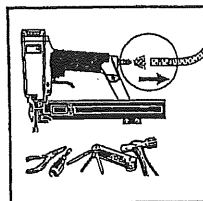
釘打機には必ず釘が入っているという想定で、いつも注意して取り扱ってください。釘打機は作業道具であって、遊び道具に使わないでください。



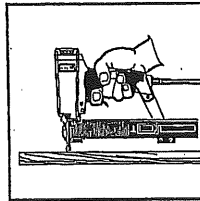
安全作業についてのステッカー「ご注意」の貼られていない釘打機は使用しないでください。もし、そのステッカーを紛失あるいは損傷した場合は最寄りのリョービ販売(株)各営業所に連絡の上、新しいステッカーを付けてください。



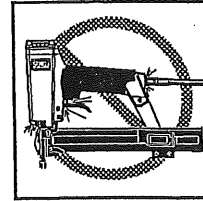
釘打機の点検・修理時、つまった釘を取り除く時、他の場所へ移動させる時、又は、他の人に手渡す時は必ずエアホース(カブラ)をはずしてください。



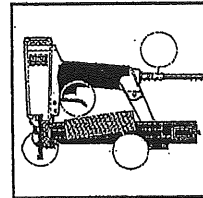
硬すぎる材料に釘打をする場合には、完全に打ち込めない場合もあります。



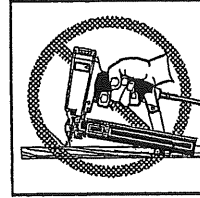
エア漏れしている、又は、修理の必要な釘打機は、使用しないでください。



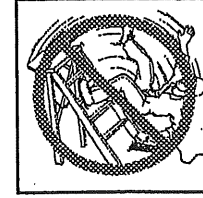
釘を入れたままエアホース(カブラ)をつなぐと釘が発射する場合がありますので必ずエアホース(カブラ)をつながないでください。



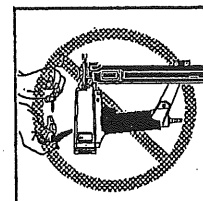
釘が飛んで怪我のもとになりやすいので、打ち込み済みの釘の上から、又、浅い角度で釘打はしないでください。



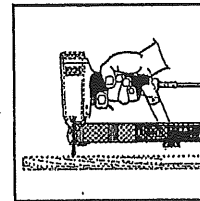
足場の不安定な場所での釘打作業は避けてください。



安全装置、引き金、及びスプリングがこわれて動かなくなったときは、絶対にその釘打機を使用しないでください。



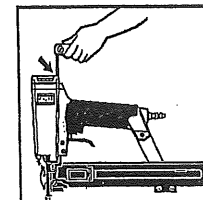
二度打ちによる跳ね返りも起こる事がありますのでスペースのある所で釘打作業をしてください。二度打ちを避ける為、一本目の釘打作業が終わって次の釘を打つ用意ができるまで、セフティーレバーを押しつけないでください。



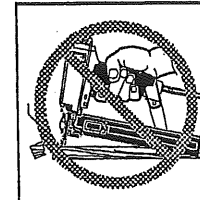
センコ釘打機の安全作業についてお気軽に最寄りのリョービ販売(株)各営業所にお問い合わせください。



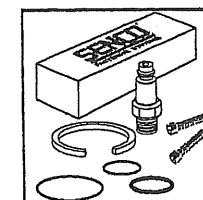
毎日、使用前にネジ類の点検、増し締め、安全装置作動の確認を行ってください。もし部品の破損、紛失があれば絶対に使用しないでください。



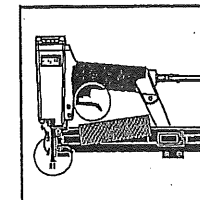
材料の端部分への釘打は材料が飛んだりする恐れがありますので、際打ちはしないでください。



修理部品や釘は、純正品をご使用ください。



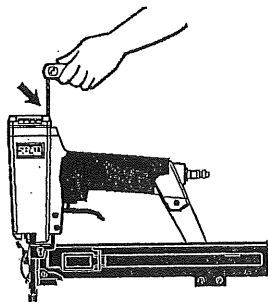
引き金を引いたまま、あるいはセフティーレバーを押さえたまま釘を入れしないでください。



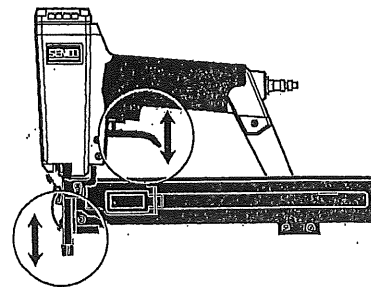
日々の点検



・「安全作業の手引き」を充分読んでください。



・ご使用前には必ず各部のネジ類を点検してください。ネジがゆるんでいると使用上危険で、故障の原因となります。

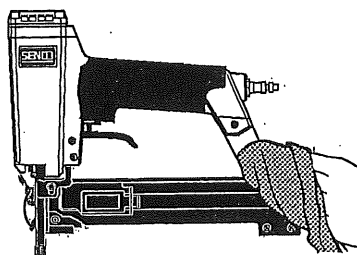


・ご使用前に安全装置がスムーズに正しく作動するかどうかを確認してください。

オイル不要

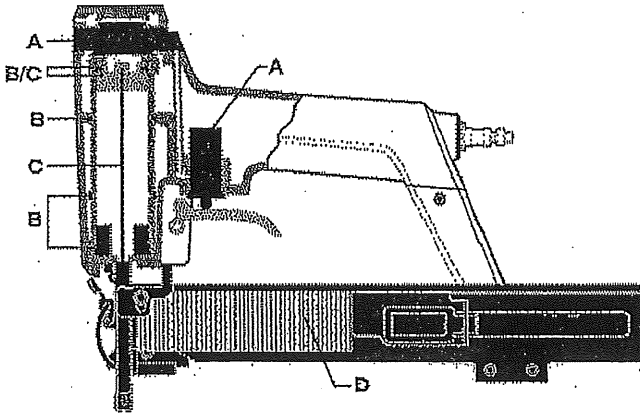


・オイルの注入は不要です。
オイルフリー



・毎日釘打機をきれいにふいて、破損してないかよく点検してください。
Oリングやその他の部品を損傷させる恐れがありますので非可燃性の溶剤を使用し決してそれに漬けたりしないでください。

故障と対策

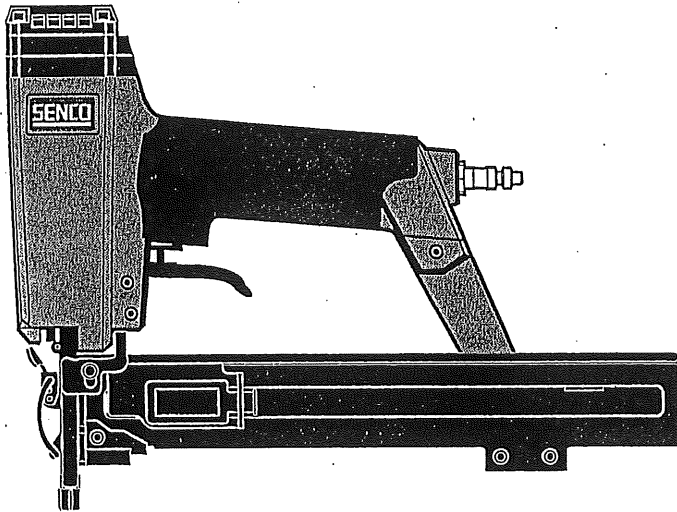


- ・点検・修理は必ずホースをはずしてから行ってください。
- ・下段に該当しない故障及びその他アフターサービスのお問い合わせは、最寄りのリョービ販売（株）各営業所へお気軽にご連絡ください。
- ・修理用パーツキット

故障	対策
1. キャップ廻りからエアもれ。	キャップスクリューを点検・増し締め。 又はパーツキット "A" 部品交換。
2. 引き金を引いても反応しない。	空気圧を点検。 又はパーツキット "A" 部品交換。
3. ツールのサイクルが不安定。	パーツキット "A" 部品交換。
4. ボディーとガイドボデーの間からエアもれ。	ネジを点検・増し締め。 又はパーツキット "B" 部品交換。
5. ドライバーの戻りが悪い。	ピストンシリンダー廻りを清掃。 又はパーツキット "B" 部品交換。
6. 打込力が弱い。	空気圧を点検。 又はパーツキット "C" 部品交換。
7. ドライバーの摩耗・折れ。	パーツキット "C" 部品交換。
8. 釘の送り不具合。	マガジン部を清掃。 又はパーツキット "D" 部品交換。
9. 釘づまり。	ガイドボデー廻りを点検。 又はパーツキット "D" 部品交換。
10. その他。	最寄りのリョービ販売（株）各営業所へお問い合わせください。

お問い合わせ先 発売元 リョービ販売株式会社

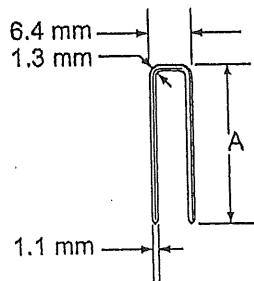
モデル SLS 25 タッカと使用ステープル



本体仕様

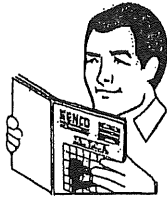
重量 :	1.21 kg
高さ :	229mm
幅 :	51mm
長さ :	305mm
装填数 :	168 本
使用気圧 :	5~6kg/cm
ホース内径 :	6mm 以上

使用ステープル仕様 (テープ連結)

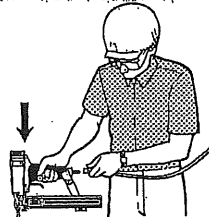


コード	A
	mm
L06	10
L07	11
L08	13
L10	16
L11	19
L12	22
L13	25
L14*	29
L15*	32
L17*	38

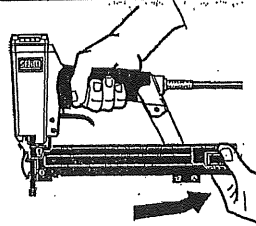
使い方



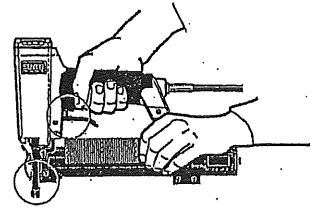
・本機をご使用になる前に必ず「安全の手引き」を読んでください。



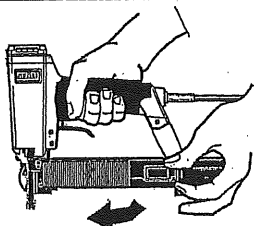
・ホースをつなぐ時は、引き金から指を離し、発射口を自分又、他人に向けないで下向きにしておこなってください。



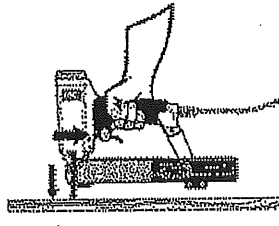
・装てん方法
フィーダーシューをうしろに引いてロック位置で固定して下さい。



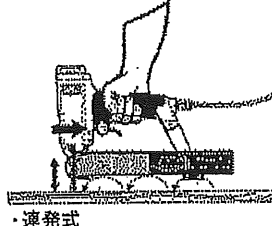
・ステープルをマガジンレールに装てんにして下さい。SENCO 純正ステープルをご使用下さい。セフティーやトリガーを引いた状態での装てんはしないで下さい。



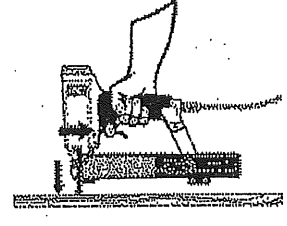
・フィーダーシューを解除して前方へスライドさせて下さい。



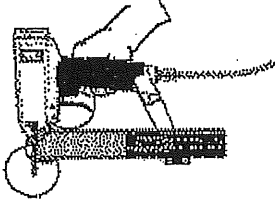
・単発式
① 初めにセフティーレバーを作業面に押しつけます。
② 次に引き金を引くと釘が発射されます。



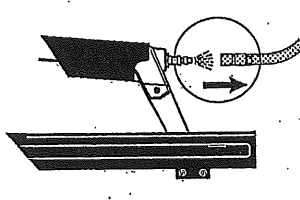
・速発式
引き金を引きっぱなしにしてセフティーレバーを作業面に打ちつけると、連続的に発射されます。



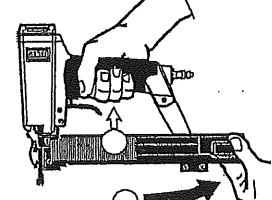
・単発式は特に正確な釘打ち作業をする場合に向いています。



・セフティーレバーが、なにかに当たって誤って押し上げられ釘が発射する恐れがありますので、作業中断時あるいは釘打機を持って歩く時は必ず引き金から指を外して下さい。



・釘づまりを起こしたらまず、エアホース（カブラ）をはずして下さい。



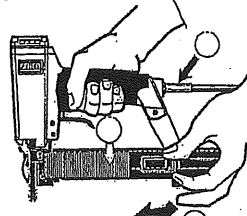
・フィーダーシューをうしろに引いてロック位置で固定してステープルを取りはずして下さい。



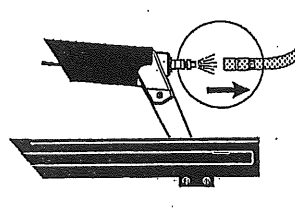
・セットレバーを引いてフロントプレートを開けます。



・つまった釘を取り除いたらセットレバーをもどしフロントプレートをきちんと正しい元の位置にもどします。



・エアホース（カブラ）をつないでステープルを装てんして下さい。フィーダーシューを解除して前方へスライドさせて下さい。



・釘の打ち込み深さ調整をする時はまず、エアホース（カブラ）をはずして下さい。



・深さ調整機能がついています。
まず、ネジをゆるめてからセフティーを上と下どちらかにゆっくりスライドさせて下さい。そして再びネジをしめつけて位置決めをして下さい。セフティーを上と上げると深くなり下に下げると浅く打ち込みます。